

個別学習支援「ワクワク学習教室」

帝京大学大学院教職研究科はカリキュラムの特徴の一つとして「教育と医療の連携」を掲げています。

「ワクワク学習教室」は医学部附属病院小児科LD外来と連携し、また、文学部心理学科や医療技術学部視能矯正学科の協力を得て、児童の学習の躓きを医学・心理学・教育学の視点から総合的にアセスメントし、学習指導・支援を行う個別の学習教室です。

2011年度に開設し、これまでに52名(指導年数平均3年)の児童の指導を行ってきました(2020年8月現在)。

「ワクワク学習教室」を利用する児童は通常の学級に在籍しており、学習障害(LD)や自閉症スペクトラム障害(ASD)、注意欠如多動性障害(ADHD)、知的境界域などの診断の児童です。

LDの児童は、教育制度上は特別支援教室での指導対象ですが、さまざまな理由で適切な指導を十分に受けられていない現状もあります。

また、LDはASDやADHDを合併することも多く、医学的・心理学的な視点からのアプローチも重要になります。

「ワクワク学習教室」は、大学院生の教育の場として、また、LD指導の研究や学校との連携の在り方を研究する場としても位置付けています。



帝京大学大学院教職研究科「ワクワク学習教室」

場所: 帝京大学板橋キャンパス 教職大学院学習指導室

日時: 月～金曜日 16:00～16:50、土曜日 11:00～11:50

担当: 帝京大学大学院教職研究科非常勤講師3名

学校連携として、必要に応じてLD外来主治医による学校訪問や、在籍学校教員の「ワクワク学習教室」指導見学を受け付けています。

また、LD等の指導に興味のある学校教員、教育関係者の「ワクワク学習教室」指導見学も随時受け付けています。

連絡先: fujiiyas@main.teikyo-u.ac.jp 藤井靖史

(帝京大学大学院教職研究科・医学部小児科 ワクワク学習教室代表)

HP:<https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/teaching/wakuwakuclassroom>

